別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		令和2年 第2回福津市教育委員会定例会
開 催 日 時		令和2年2月12日(水) 午後 4時00分から 午後 5時05分まで
開 催 場 所		福津市役所 本館2階 庁議室
委 員 名		(1) 出席委員 柴田教育長、藤井委員、今村委員、 半澤委員、青木委員
所 管 課 職 員 職 氏 名		重富教育部理事兼教育総務課長、神山学校教育課長、 堀田文化財課長、芹野主幹兼スポーツ文化振興係長、 永松主幹兼指導主事、伊澤指導主事兼教育指導係長、 藤岡指導主事兼教育指導係長、笹田総務企画係長、松本
会 議	議 題 (内 容)	・報告 ・その他
	公開・非公開の 別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	4人
	資料の名称	
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録 ☒ 録音テープを使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録署名委員		柴田教育長 藤井委員
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 日程第1 開会の宣言

柴田教育長：皆様、こんにちは。

令和2年第2回の定例教育委員会でございます。

教育委員構成員5名中ただいまの出席委員は5名で、定足数に達しており、教育委員会は成立いたしましたので、定例会を開会します。

直ちに会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

2 日程第2 会議録署名委員の指名について

柴田教育長：会議録署名委員の指名について、会議規則16条の規定に基づきまして、本日の会議録は私、柴田と藤井委員で確認、署名することといたします。

よろしく申し上げます。

藤井委員：はい。申し上げます。

3 日程第3 報告

柴田教育長：本日は特に議題がありませんので、報告事項から入りたいと思います。

まず、教育長の動静報告でございますが、前回の会議が1月28日ございましたので、その後約2週間の動静でございます。書面をもって報告とさせていただきます。

諸報告です。管内教育長会の報告について、永松指導主事のほうから申し上げます。

永松指導主事：失礼いたします。

先日の管内教育長会議の報告として、1点ご報告させていただきます。

令和2年度教科用図書採択に係る業務の流れということで、今年度は小学校の教科用図書採択に係り、教育委員の皆様には、御協力いただいております。令和2年度は、中学校の教科用図書採択に係る業務の流れということで、教育事務所の分の日程が具体的に決定しておりますので、御案内したいと思います。

これに伴い、宗像地区での採択協議会の日程を後日改めてお知らせしながら、進めていきたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

以上です。

柴田教育長：来年度は、中学校の教科用図書採択業務があるということで、

福津市教育委員会からも半澤委員に調査委員会委員として入っていただきます。

令和2年4月20日より会議が始まるということで、そこにフローチャートで業務の流れが示してあります。よろしく願いします。

それでは、「福津市教職員の働き方改革取組指針（案）」についての説明をお願いします。

永松指導主事：はい。別冊の資料を準備させていただいておりますのでご覧ください。「福津市教職員の働き方改革取組指針（案）」の報告をさせていただきます。

この案を作成するに当たり、まず11月6日に校長会代表、教頭会代表、主幹会代表の先生方に来ていただき、意見交流会を行いました。その後、12月20日に校長研修会で御意見をいただき、1月17日に教頭研修会でまた御意見をいただき、最終的に教育委員会事務局会のほうで検討をいたしました。

1ページ目、『1 指針について』は後ほどご覧いただけたらと思っております。大きくは福岡県の指針に基づいて作成しております。

2ページ目からの『働き方改革の目的』、それから『＜働き方改革のポイント＞』、これに関しましても、福岡県の指針を引用しながら作成させていただいております。福津市としまして、3ページの『3 福津市教職員の長時間勤務の現状』ということで、4月から9月まで、小学校と中学校でそれぞれ80時間以上超過勤務している教職員の割合を提示させていただいております。

その後の具体的な取り組みについては、それぞれ小学校と中学校の現状は違いがあります。例えば中学校は部活動があり、そのような中で、超過勤務時間に小学校と中学校で差がございます。

その後の、『4 目標』をご覧ください。令和元年度から令和3年度までの間で、超過勤務の削減が目標になっております。本年度は超過勤務時間の正確な把握ということで、来年度から削減に向けて取り組みを進めてまいりたいと考えております。

4ページです。公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン等を載せさせていただいております。

5ページからは、『5 具体的な取組について』次の4つの観点で取り組みを進めます、ということで、（1）教職員の意識改革、（2）業務改善の推進、（3）部活動の負担軽減、（4）教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等、この4つの観点からそれぞれご意見等いただきながら作成しております。今から、これを具体的に説明させていただきたいと思います。

（1）教職員の意識改革です。

1つ目は、勤務時間の適正な把握、ということで、現在業務従事時間を出退勤管理システムでパソコンにて記録しております。今後それを継続して記録していくということになります。

2つ目は、定時退校日の設定です。なかなか中学校は徹底できていないという現状などを鑑みて、小学校は毎週1回、中学校は月に2回定時退校日の設定を必ず行うということです。曜日に関しては、原則毎週金曜日というものが、小学校の提案でございます。

3つ目は、学校閉庁時刻の設定です。小学校は20時、中学校は生徒の完全下校から2時間後、ということです。夏場は、部活動を19時までしており、それから子ども達が下校しますので、21時を、冬場は20時を、学校閉庁時刻ということで設定しております。やむを得ず生徒指導、それからPTA会議などで時間外に業務を行う場合であっても、退庁時刻が遅くなり過ぎないようにということで、但し書きをつけさせていただいております。

4つ目は、学校閉庁日の設定ということで、本年度同様、閉庁日を夏季休業期間中、8月13、14、15、16日の平日ということで、本年度同様記載させていただいております。

続いて6ページです。まずは、学校閉庁日の取り扱いについて述べさせていただいておりますが、日直をおかない、生徒を登校させず、部活動も実施しない、というものが、閉庁日の原則でございます。

また、その日のサービスに関して載せております。休日ではないことから、先生方には年休での対応ということになります。

このようなことの事前周知の徹底ということで、福津市のホームページや市の広報誌、各学校では、学校のホームページや学校だより等で周知していく予定です。

5つ目は、管理職の意識改革です。各学校でこの働き方改革を推進していただくために、校長先生方を中心として、いろいろと検討していただくことになるかと思えます。長期間勤務の改善の取り組みについて、各学校でそれぞれ管理職研修などを行いながら進めていただくということと、それから校長先生による長時間勤務改善の取り組みを校長先生の業績評価において適正に評価していくというところで表記させていただいております。

(2) 業務改善の推進です。

1つ目の業務改善の推進です。このことは、個人・学校等で進めていただくこととなりますので、校務分掌の見直しや、働き方改革に関する校内での研修の実施などを行いながら、先生方の業務改善をはかっていくということです。

2つ目は学校のICT化です。現在学校では校務用パソコンを活用しており、その中でネットワークを活用した業務の改善

や効率化などを行っているという話を聞いておりますので、市教委としても学校のICT化等を推進してまいりたいと思っております。実際にパソコン上で掲示板を使ったり、ペーパーレスで職員会議をされたりしているということです。

また、現在ICT支援員さんがおられますので、そのICT支援員さんを活用して、授業でのプログラミング学習、それから授業支援体制などを構築しながら進めていきます。他には、データの共有、それから教育委員会と学校がつながっているフォルダを有効に活用できるというところの研究を今後進めてまいりたいと考えております。

3つ目の調査の削減・文書事務の見直しということで、こちらは市教委が、今もいろいろと検討しているところではございますが、今後は、学校に対する調査などの見直しを行い、できるだけ学校の負担が少ない形での文書事務のやりとりをさせていただくような形で、進めていきたいと思っております。

4つ目の研修事業の見直しということで、現在、次年度の研修事業計画を立てておりますが、研修を体系化するというところで、負担軽減という観点も含めて研修の見直しを実施していくことは考えております。しかし学校からの要望でもありますが、研修を無くすばかりではなく、研修を行うことで、より学校での様々な取り組みが円滑に進むような、そういう研修を考えながら、事業の見直しをしているところでございます。

5つ目の勤務時間外の電話対応等の負担軽減です。勤務時間外の電話対応の改善に向けてということですが、留守番電話や、それから時間になったら決まった音声の流れ、電話にも出られなくなるような設定など、いろいろと検討されるころではありますが、実際に意見交流会などでそのことについて話を聞いていく中で、学校の先生方からは、それをすることでかえって初期対応が遅れ、子どもや保護者との関係に影響してくるので、今のところそれについては見送りたいというような御意見をいただきました。従いまして今回は、市教委から、保護者・地域宛にできるだけ時間内でお電話をいただくように、家庭や地域のほうに周知するというところで進めていきます。まずは学校運営協議会、それからPTA役員会などで周知しながら、実施に向けて準備をしてまいりたいと考えております。

(3) 部活動の負担軽減です。

これに関しましては、以前御報告いたしました宗像地区部活動ガイドラインを引用しておりますので、説明を省かせていただきたいと思います。

(4) 教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等です。

1つ目は、スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・少人数教育非常勤講師などの活用ということで、専門的な知識を持つ方々と連携をしながら、

「チーム学校」としてということ、機能を強化してまいりたいと考えております。

2つ目は、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」の推進ということ、例えば地域の見守り隊の方々や、それから現在地域学校協働活動ということ、地域コーディネーターの28名の方々に活動していただいておりますが、そのような地域の方々の力を借りながら、働き方改革を推進していきます。

以上、「福津市教職員の働き方改革取組指針（案）」の説明とさせていただきますと思います。

柴田教育長：ありがとうございます。何かお聞きになりたいことはございますか。

今村委員：質問よろしいでしょうか。

まず5ページの定時退校日についてです。中学校は月2回設定されるということです。非常に良いと思うのですが、以前は週に1回程度となっていたと思います。月に2回になった、根拠はありますか。

永松指導主事：この定時退校日の設定は、勤務時間の総数が減るところが一つ大きな目的ではあるのですが、現在中学校では、月1回でも徹底できていない現状があります。そこを必ず実施するというところで、月に2回が案として出てきています。

現在、部活動を週に2回休むというところは、それぞれの中学校が守れています。しかし、その日に会議を入れたりしており、どうしても5時に帰ることができていない現状があるというのが、今の中学校の実態のようです。5時に帰るということ徹底させるということで、月2回の設定をするということです。特に中学校から出てきた御意見で作成させていただいているところです。

今村委員：この意見は管理職の先生からも、出てきたということですか。

永松指導主事：管理職の先生方にも見ていただいております。

指針ということなので、毎週1回の設定というように理想的なものを上げた方が良くとも検討いたしましたが、学校からは「月2回の設定で、それを必ず徹底させましょう。」というところが、御意見として出てきたところでございます。

今村委員：なかなか難しいですね。10年前に、私が学校に勤めていたときは、週1回は月曜日に定時退校日としていました。しかし、実際は5時で帰る先生もいますが、6時や7時まで残っている先生もいました。週1回は非常に難しいから、月2回程度になったのだと思います。

それからもう一つよろしいですか。夏季休業期間中の学校閉庁日の設定は非常に良いと思います。従いまして、冬季休業期間中の学校閉庁日の設定も入れた方が良いでしょう。気がします。

永松指導主事：そのことについては、最初、原案としては入れる方向で作

成をしていました。原案では12月29日からが年末年始の休みに入るので、12月27日と28日を学校閉庁日としていました。しかし、暦を見ていくと、例えば12月24日が終業式で、25日と26日で土日が挟まる場合、ずっと学校に来ないこととなります。終業式が終わり、それからずっと休みに入るということになると、それは現実的に厳しいのではないかとこの意見が出ました。

今村委員：結局12月30日や31日に部活をすることになるのではないのですか。

永松指導主事：今は、年末年始の休みで部活はしていません。

今村委員：していないのですね。

永松指導主事：年末の休みで可能な分は有給休暇の取得を推進していただくようなことは、それぞれお願いしていきたいところではあります。実際夏季休業期間中の学校閉庁日は、きっちり休んでいただいています。この期間は、部活もしてはいけない、日直も置かないというように決めています。よって、冬季休業期間中も学校閉庁日を設定するように、この指針に書いてしまうと、再来年度は暦の関係で、24日に勤務した後、年末はずっと来られないような状況になるという御意見をいただきました。この点については、今後検討していきます。

柴田教育長：基本、12月29日から1月3日までの6日間は、閉庁しているような状況です。

今村委員：では、その期間は夏季休業期間中のこの4日間と同じような扱いということですか。

柴田教育長：そうですね。

中学校では、吹奏楽部がクリスマスコンサートを行ったりはしています。年明けにも、バスケットボール部やバレー部など室内競技の部活は、新チームで交流会をするようなことがあります。そのようなものに出場したりすることはあります。

現場の声を聞きながら作成しています。事務局だけで、案を作成し現場に提示したというわけではありません。

もう一つ、定時退校日についてです。

学校長の運用でできることとして、私から少し提案をすることは、「個人定時退校日」というものをつくるのはどうかということです。学校全体としての定時退校日は月に2回ですが、個人でも別に設定するということです。

定時退校日を設定されても、それぞれの業務の質によって、どうしてもその日までに片づけなければいけない業務を背負ってしまう先生もいます。その先生は別の日に、「自分は個人的にこの日を定時退校日にします。」と、そのような制度をつくっても良いのではないかと伝えていきます。個人の設定で、「毎週金曜日は5時で帰るようにする。」というように、何かそういうものを考えさせるのはどうかと、投げかけています。

今村委員：この間、文部科学省からきていた文書にも、そういうことを設定している学校もあるようでしたので、良い考えだと思います。

それともう一点、7ページのところです。（3）部活動の負担軽減、①部活動休養日の拡大、についてです。

これは、週当たり2日以上休養日をつけることということで、非常に良いと思うのですが、自主練というような抜け道はないようにしてほしいと思います。結局、「今日は休養日です。」と言いながら生徒が練習しているということがあるかもしれません。要するに休養日だけど自主練はしても良い、というような形はないようにする方が良いと思います。

以前は、よくそういうものがありましたので。

永松指導主事：この宗像地区部活動ガイドラインは、平成30年に作成させていただいて、今も運用しているところなのですが、学校ではその辺は結構守っているようです。教育委員会に報告が挙がっている分では、大会前などで、少し例外をつくってあるところはあるとは、聞いているところですが、例えば平日の火曜日を休みにして、その日に先生達は会議を入れられています。子ども達は3時半ぐらいに全員帰すようにして、休養日については結構守っているのかなと感じていたところではあります。そのように、休養日には自主練などがないような形で継続して取り組むように、話をしていきたいと思います。

今村委員：分かりました。

柴田教育長：他に「福津市教職員の働き方改革取組指針（案）」について、御質問がある方はいらっしゃいますか。

藤井委員：質問です。6ページの（2）業務改善の推進、②学校のICT化の所に、ICT支援員を活用したプログラミング学習や授業支援体制、とありますが、このICT支援員は何人ぐらいの配置なのですか。

永松指導主事：市で、1人分です。実際は、1人の時間分を2人で作業をされています。市としては1人分を雇っているのですが、会社で分担しながら学校を回っています。学校からは、例えばホームページをこのようにしてほしい、授業中パソコンでこういうことを行いたい、といった相談をそれぞれしています。

去年までは市役所に常駐しておられたのですが、それではなく、学校のほうに回っていただきながら、現場の相談を受けていただくということです。ここのところは、もう少し私たちが活用を活発にし、仕組みをつくれたらなどは思っています。

藤井委員：はい。わかりました。

柴田教育長：今年、全小学校にタブレットを整備しています。上西郷小学校と勝浦小学校以外は40セットです。上西郷小学校は30セット、勝浦小学校は20セット整備しています。学校規模によって異なります。しかし、同じ40セットでも、福岡南小学校や

福間小学校と神興東小学校では、状況が大分異なります。これは2022年まで、順次整備していくということです。

藤井委員：はい。

今村委員：もう一点よろしいでしょうか。7ページの一番上に、③調査の削減・文書事務の見直し、について書いてあります。これは当然このような方法で良いと思うのですが、以前にも述べたと思いますけど、学校は印刷業務が非常に多くあります。例えば試験前には、試験問題の印刷があります。一学年分の場合はまだ良いのですが、学年をまたがっている場合は問題も違いますし、印刷の量が非常に多いです。また学年通信や学級通信も、担任がする場合がありますし、学年主任の方がされる場合もあります。そのような印刷業務を、請け負う方を1校に1人、というのは財政的に厳しいのかもしれませんが、1人の方が1日に3校を回るような形でできないのでしょうか。これはかなりの負担軽減になると思います。

永松指導主事：これについて福間小学校では、学校のほうから保護者の方に頼み、ボランティアさんがしてくださっています。うまく校長先生の裁量でされている学校はあるとは聞いています。

今村委員：それでも良いと思います。お分かりだと思いますが、印刷物がとても多いんですよ。印刷業務だけでも大分違うと思います。その分、他の業務に時間と労力を与えられるからですね。

永松指導主事：神興小学校でも、赤ペン先生をされるときに、地域コーディネーターの方が印刷まで作業をしてくださったりしており、そのように地域の方が学校を支援しようと、いろいろと動いたりはしてくださっているように聞いています。

柴田教育長：働き方改革の見直しとして、印刷業務等を行う事務補佐みたいな人を学校に配置できないかということですね。

今村委員：市からでも良いし、学校単位でボランティアを募っても良いと思います。形はどのような形でも良いと思います。

柴田教育長：福津市の場合は、人の配置は結構していただいています。

スクール・ソーシャルワーカーや、特別支援教育支援員や、少人数指導員など、全校に配置してもらっています。あとで事業の報告で人の配置について神山学校教育課長からあると思います。

他に何か、よろしいですか。

永松指導主事：この指針の案についてですが、この後は、校長会の方に決まったものを下ろします。ここで確認を取っていただいたものを、案を消した状態で指針として出させていただきます。3月は一応試行というような形でさせていただいて、4月からは完全実施ということで流していく方向で確認をしております。

柴田教育長：よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次は教育部の主要事業の概要についてです。説明をお願いします。

重富理事：令和2年度の教育委員会分の当初予算の報告を行います。3ページから24ページまで、全部で22事業あります。特に説明が必要と思われる事業について、各課から簡単に説明を申し上げたいと考えております。

神山課長：それでは、まずは学校教育課の分から説明をさせていただきます。主に人的配置の拡充をしていただいた分について2事業ほど説明をさせていただきたいと思っております。

最初に3ページお願いいたします。教育相談事業費ということで挙げさせていただいております。

令和2年度につきましては、1,854万5,000円の予算計上をさせていただいております。平成31年度予算と比較いたしますと、488万7,000円の増額の予算計上要望を出しているということになっております。

財源につきましては、スクールソーシャルワーカーの配置につきましては、県費の補助金を活用したいと思っておりますので、69万3,000円の県補助を活用し、その他を一般財源で行うこととしております。

この事業につきましては、御承知のとおり、不登校の児童生徒への支援や、いじめなど生徒指導上の諸問題の解決を目的とするものでございます。教育委員会の中で、教育相談を担当する非常勤の指導主事が3名おりますが、その3名の指導主事であったり、学校に配置をしておりますスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフについて「チーム学校」というところによります、相談支援体制を充実、強化するための予算でございます。

予算の状況につきましては、来年度から非常勤の職員の任用が、会計年度任用職員ということになりますので、そこにそれぞれの内訳を書かせていただいております。

スクールカウンセラーについてです。中学校区ごとに配置をしておりますスクールカウンセラーに加えまして、本年度と同様に、小学校を回ってもらうスクールカウンセラーを加えた予算になっております。

スクールソーシャルワーカーについてです。相談件数が増えており、特にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーさんへの相談件数が年々増加してします。従いまして、令和2年度は、特にスクールソーシャルワーカーの活動時間数を、昨年度と比較して大体1.5倍の時間を活動していただけるように予算要望し、計上させていただいております。

それから、児童生徒や保護者、教職員からの相談を受けて、早期対応と一人一人に応じたきめ細やかな支援の充実をはかるためには、人的な配置だけではなく、学校と地域、それから関係機関との連携をさらに強めていく必要があるというようには考えているところでございます。

次に、6ページをお願いいたします。特別支援教育総合推進事業について御説明をさせていただきます。

令和2年度の予算につきましては、2,844万5,000円を計上いたしております。平成31年度と比較をいたしまして、756万1,000円の増額となっております。

財源につきましては、全て一般財源です。

本市が行います、この特別支援教育総合推進事業につきましては、各学校で発達障害を含む障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な個別指導や必要な支援が実施できる体制を整えるために、特別支援教育支援員を配置するものでございます。

福津市では、御承知のとおり人口増加に伴いまして、児童生徒の数が急激に増加していることから、特別支援学級の数も一貫して増加の傾向にあります。また、特別支援学級に在籍する子どもの数や通級による指導を受けている子どもの数も増加の傾向にあります。

ちなみに、平成31年度の特別支援学級は、小学校が34学級、中学校が9学級の合計の43学級です。在籍しております児童生徒は、小学校は170人、中学校が42人の合計の212人という状況でございます。この数につきましては、平成30年度と比較をしますと、1.37倍です。平成29年度と比較をすると、既に本年度は1.81倍で95名も増加している状況でございます。さらに2月1日現在の、令和2年度4月の推計におきましては、小学校の特別支援学級が37学級、中学校が11学級で、小学校と中学校合わせて48学級の見通しということになっており、児童生徒数は260名以上になる見込みという状況になっております。

従いまして、特別支援教育支援員の配置につきましても、平成30年度は平成29年度より、小学校と中学校で合わせて4名増員して19名を配置しており、平成31年度はさらに9名増員して28名を配置している状況です。令和2年度につきましても5名を増員して、33名の配置体制とできるように、予算の確保に務めている状況でございます。

学校教育課からは、主に人的な配置の増分について説明をさせていただきました。

後は、昨年と同様の事業もしていく予定です。部活動指導員につきましても、本年度は中学校ごとに1名ずつということですけれども、来年度は2名ずつの配置をお願いできるような予算の確保をしているところです。

以上でございます。

重富理事：続きまして、教育総務課です。

10ページから13ページの4事業を主要事業として、作成しておりますが、その中から福間中学校の建てかえと福間小学

校の増築について御説明をしたいと思います。

まず10ページの福間小学校の第2教室棟の増築工事でございます。令和2年度は、3億5,847万円ということで、前年度から3億余り増えています。平成31年度と令和2年度の2カ年度にわたる事業になります。

複数年にわたる場合は、総事業と各年度の年度割りの額を示して、予算の議決をもらうという形の手法で、継続費というものを組んで執行しています。平成31年度の9月議会の補正で、この継続費を計上しました。総額では5億1,210万円で、その中で平成31年度は1億5,363万円で、令和2年度が3億5,847万円となっています。

これを建てることにより、12教室増えるということで、増築後は普通教室が41教室、特別支援教室が7教室、合計で48教室になります。将来的に福間小学校は50教室になる見込みがあるということで、現在、多目的教室ということで2教室つくっているのですが、最終的に50教室が必要になった場合は、この多目的教室を普通教室に転用するという形になるかと考えております。

なお、9月補正で予算を確保し、12月議会で工事の契約を締結して、現在はまだ工事に入ったばかりということです。実際に本格的に建築が始まるのは来月の3月ぐらいからではなかろうかと考えているところでございます。

次に、13ページの福間中学校の増築建てかえ工事です。予算額は8億562万円ということで、前年度から6億4,000万ほど増えています。これも先ほどの福間小学校の増築工事と同様に、継続費というものを組んでいます。平成31年度から令和4年度の4カ年です。継続費は平成31年度の当初予算で計上をしております。

今年度は、給水設備の整備や仮設校舎の建設など準備工事を行います。来年度に校舎の建てかえを行うので、今年度中に仮設校舎を建てる必要があります。現在は、運動場に仮設校舎を建てている最中です。また、校舎から仮設校舎への渡り廊下の整備等を行います。

実際に教室棟などの解体工事や建設工事は、令和2年度と令和3年度に行います。令和2年度と令和3年度は、子ども達は仮設校舎で勉強します。令和3年度末には完成をするので、新しい校舎に移り、令和4年度の4月から新しい校舎で勉強ができます。令和4年度は管理棟の解体工事や給食棟の増築工事をする予定にしております。

令和2年度の8億の予算ですが、その中の6億ほどが工事で、1億2,000万が仮設校舎の学校校舎賃借料です。仮設校舎は、全員が入る校舎になるので、単年度で1億2,000万、2カ年度で2億4,000万ほど見込んでいます。

な形です。

現在の普通教室数は、21教室ですけれども、完成後は30教室になります。

以上で、教育総務課の説明は終わります。次は、郷育推進課をお願いします。

芹野主幹：それでは郷育推進課の事業について説明をさせていただきます。

郷育推進課としては、14ページから21ページの8事業を主要事業として計上させていただいております。

主な事業といたしまして、15ページです。来年度の2020年東京オリンピックが開催されるに当たり、国際交流事業費として、オリンピック聖火リレー事業を組んでおります。

予算額は413万6,000円となっております。

事業の目的といたしましては、2020年東京オリンピック聖火リレーを福津市で実施することで、地域の魅力を世界中に発信でき、また市民が大会を身近に感じ、スポーツに対する関心、意識の向上をはかるということとしております。

事業の内容につきましては、福岡県の実行委員会と連携を取りながら、聖火リレーの運営、またそこを走るランナーの管理に係る業務を行っていきます。

また、地元を盛り上げるために、観覧者の送迎のためのシャトルバスを運行することとしております。

県内実施市町村で一律に必要なリレー運営に係る経費及び機運醸成に係る経費については、要した費用を実施市町村と県で折半することとしておりまして、負担金として361万1,000円を計上させていただいております。

リレーの日程は、既に5月13日にやることになっておりまして、場所は新原・奴山古墳群の区間を5区間でリレーをする予定としております。

続きまして、21ページをご覧ください。例年継続してやっております、海洋性スポーツ事業でございます。

前年度予算額の782万4,000円に対し、本年度予算額は981万2,000円を計上しております。

事業内容につきましては、福津市と宗像市の小学校の海洋スポーツ事業として、例年5年生を対象に開催をしているところでございます。

平成31年度につきましては、福津の小学校4校8クラスが実施しております。宗像市では7校の9クラスが実施されております。令和2年度につきましては、かなり需要が増えてきてまして、福津市内の小学校、全ての学校がやりたいということで、7校20クラスを予定しております。

そのため予算が大きく増えているような状況でございます。

郷育推進課からの説明は以上です。

堀田課長：続きまして、文化財課の説明をさせていただきます。

文化財課の主だった事業としまして、22ページから24ページまでの三つの事業を挙げておりますが、その内の一つ、24ページの地方創生事業費（世界遺産保存活用事業）について御説明します。

令和2年度の予算額は582万1,000円となっており、財源は163万9,000円が国庫補助金、国庫支出金である地方創生推進交付金で、残り418万2,000円が一般財源となっています。

事業費の内訳は表のとおりとなっておりますので、御確認ください。

事業目的です。新原・奴山古墳群を含む世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群でございますが、これを保存管理するとともに、魅力や価値を情報発信して、理解促進をはかり、ひいては基本方針に書いていますように、国内外の人が何度も訪れたい魅力をもつていくということになっております。

事業内容でございます。福岡県や宗像市とともに構成する、保存活用協議会に負担金を拠出し、世界遺産構成資産群を一帯として保存管理整備したり、古墳群来訪者に古墳群のリーフレットを印刷し、配布したりいたします。

また、令和2年度の新たな事業として、地元の団体と一緒に、花植え等を行い、観光客が何度も訪れたいような取り組みを進める予定としております。

今後の方向性、課題というところでございますが、やはり地域の振興や活性化に結びつくようなまちづくりができればと考えるところでございまして、そのためには先ほどから申していますように、何度も人が訪れたいような事業展開をしていくことが肝要ではないかと考えております。当然観光部局との密接な連携も必要でございます。加えて、文化財課としても、今まで連携をはかっていなかった地元、勝浦地域のほうと一緒に古墳周辺の花植え、花いっぱい化などを行うことができたかと考えております。そしてしっかりと連携を取っていくことができたかということで考えております。

以上で文化財課の説明を終わります。

柴田教育長：はい。ありがとうございました。

4課それぞれの次年度の一般会計予算案の説明がありました。何かお聞きになりたいことはございますか。

今村委員：11ページの所で質問です。予算の財源内訳の、その他というのはどこからの財源なのですか。

重富理事：はい。一番下に＜その他財源の内訳＞ということで載せておまして、この1億4,420万円は、教育施設建設準備基金繰入金です。基金は、財政調整基金などが一般的なのですが、目的基金と言いまして、教育関係の施設に使いますよという基金

もありますので、今回教育総務課は、建設関係が非常に多いので、この基金を活用しています。

10ページと13ページについても、財源内訳のその他は、この教育施設建設準備基金を繰り入れする予定にしています。

今村委員：ありがとうございます。

柴田教育長：他に何かお聞きになりたいことはありませんか。よろしいでしょうか。

また、何かお聞きになりたいことがありましたら、いつでもおっしゃってください。

4 日程第4 報告事項その他

柴田教育長：それでは、日程の第4、その他ということで、事務局から説明をお願いします。

笹田係長：今後のスケジュールについて、25ページをご覧ください。

本日から4月1日までの日程を載せております。教育委員の皆様に関わる分を御案内いたします。

2月17日（月）、午後にコミュニティ・スクール報告会がふくとびあで行われます。

3月13日（金）、市内中学校の卒業式が予定されております。

3月17日（火）、市内小学校の卒業式です。

3月19日（木）、神興幼稚園の卒園式です。

3月31日（火）、教職員の離任式を、午前11時から図書館2階の研修室で行います。

4月1日（月）、教職員赴任式を、午後3時から図書館2階の研修室で行います。

以上です。

柴田教育長：はい。ありがとうございます。

それでは引き続き事務局から、卒業式と入学式の日程、教育委員会の今後の日程等をお願いします。

笹田係長：26ページをご覧ください。平成31年度卒業式および令和2年入学式等について、現時点の参列者一覧表（案）を載せております。

中学校の卒業式は3月13日（金）、小学校の卒業式は3月17日（火）、幼稚園の卒園式は3月19日（木）となっております。都合の悪い日程などがございましたら教えていただきたいと思っております。

入学式等につきましては、人事異動などもありますので、職名だけを入れているところもあるのですが、こちらについての御都合はいかがでしょうか。

また市長部局の分が、今はまだ空白になっておりますので、名前を入れたものを、またお配りしたいと思いますので、よろ

しくお願いいたします。

次回の教育委員会の日程につきましては、3月24日（火）午後3時半を予定しております。場所は本日と同じ庁議室で実施予定です。

以上です。

柴田教育長：はい、ありがとうございます。

5 日程第5 閉会宣言

柴田教育長：それでは、以上をもちまして、令和2年第2回福津市教育委員会定例会を閉会したいと思います。ありがとうございました。